

【応募案内】

技術士が語る科学技術基礎講座

社会変化のはやい時代に“生き残る力”とは？

～産学官連携、知的資産経営、AI 活用人材の実例を 3 人の技術士が語る～

大阪技術振興協会は、公益社団法人の立場を踏まえ、科学技術普及のため技術者のみならず、一般市民の方々に向けて、最近の気になる話題について科学技術基礎講座を開講します。

最近の急激な科学技術進展に伴う社会変化で私たちを取り巻く生活環境は厳しさを増しています。また、情報過多の中でこれまで以上に先行きの社会にどう対応して生きるかが問われています。

本講座は技術に関係する方のみならず、一般の市民や企業の方を対象とし、最近の気になる3つのテーマを実例により、わかりやすく解説します。

- ◆主催：公益社団法人 大阪技術振興協会
後援：一般財団法人 大阪科学技術センター
大阪国際サイエンスクラブ

◆講座日時・場所

1. 日時：2025 年 3 月 15 日(土) 13 時～17 時
2. 会場：大阪科学技術センタービル B102 室
3. 参加募集：会場 60 名＋WEB(大阪技術振興協会会員のみ)

◆申込方法等

1. 参加費：500 円（但し学生は無料）
2. 申込方法：

必要事項ご記入の上、下記メールまたは FAX にてお願いします。

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4（公益社団法人）大阪技術振興協会

FAX: 06-6444-4818(電話:06-6444-4798)

Email: 504@otpea.or.jp 科学技術基礎講座実行事務局 奥村、田中宛

- ◆申込締切日時：2025年3月10日(月) 17時



***** 申 込 書 *****

FAX:06-6444-4818

年 月 日

(フリガナ) お名前		勤務先等	
		Eメールまたは 電話(FAX)番号	

◆講座プログラム

時 間	内 容	講師他
13:00～13:10	開講挨拶	公益社団法人大阪技術振興協会 専務理事: 竹田 雅信
13:10～14:10	講義1 「産学官連携で生き残る。グローバルな失敗の経験から」	穴山 恭廣 技術士(経営工学部門)
14:10～15:10	講義2 「技術力が中小企業の価値を高める時代の技術者の役割」	福島 正章 技術士(電気電子・総合技術監理部門)
15:10～15:25	休憩	
15:25～16:25	講義3 「AI時代に求められる人材とは／隠れた関係や背景まで目配りする『システム思考』と、受け入れつつも批判する『共感的批判力』が重要に」	杉浦 司 技術士(情報工学・経営工学部門)
16:25～16:55	質疑応答(質問用紙等により)	全員
16:55～17:00	閉会挨拶	公益社団法人大阪技術振興協会 科学技術普及委員長: 奥村 勝

●講義 1

社会変化のはやい時代、産学官の連携が期待されます。今回は事例を中心にわかりやすくお話しします。産学官の産は民間企業、学は国内外の大学、官は国立機関、自治体です。

それぞれの強みをあわせて、より競争力のある製品、技術、サービスを目指します。その過程でどのような事例があり、なぜ失敗となったかをご紹介します。そして、連携の成功確率をあげるにはどうすればよいか、取り組みについてご提案いたします。

●講義 2

企業の価値は、元々財務データで算定され、金融機関や投資家などが融資や投資を行う際の判断基準になっていました。しかし、近年では企業の価値評価方法として財務以外の要素にまで対象範囲を広げることが多くなっています。非財務要素の代表例に経営者のリーダーシップ、業務プロセス、特許権、ノウハウ、技術力などの人的資源や知的資産があります。

今回は企業価値を高めるために技術者がどのように活躍できるかをご紹介します。

●講義 3

AI の進化はもはや誰にも止めることはできません。仕事も家庭も便利になっていくことはありがたいことです。しかし、その一方で電化製品なしではまともに生活できないような「キカイに生かされているだけの存在」に成り下がってしまうのはごめんです。

電化製品も AI もそもそも人間が時間をかけたり、みんなが協力すればできることをやってるだけです。彼らは協力者であり依存しすぎではいけません。

私たちが人間として輝き続けるためには、まわりのことや過去や将来に思いをはせられる「システム思考」と、これでいいのだろうか、もっといい答えがないのかと問い続けられる「共感的批判力」を持つことが重要なのです。